○地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)(抄)―――――――――――――――――――――――――――――――――――	関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律政手続における特定の個人を識別するための番号の利用	○児童手当法施行令(昭和四十六年政令第二百八十一号)(抄)───────────────────────────────────	○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行令(平成二十六年政令第百五十五号)(抄)─────9(報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年法律第十六号)(抄)─────	○情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情○住民基本台帳法施行令(昭和四十二年政令第二百九十二号)(抄)───── ○住民基本台帳法(昭和四十二年法律第八十一号)(抄)──────
---	--	--	---	---

 \bigcirc 住 民 基 本 台 昭 和 兀 + 年 法 律 第 八 + 뭉 抄

録七戸 条籍 \mathcal{O} 下戸附 同籍票 じのの 。附記) 票載 をに事 すは項

第 一記十二 る 。次 に 掲 げ る 事 項 に 0 11 て 記 載 前 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に ょ ŋ 磁 気 デ イ ス ク を ŧ 0 て 調 製 す る 戸 籍 \mathcal{O} 附 12 あ 0 て

は

れ コ住男出への住氏へ 1 民女生略市所名略以 ド票ののご町へ 村国 に外 おに い転 て出 もを 住す 民る 基旨 本の 台第 帳二 に十 記四 録条 さの れ規 て定 いに なよ いる 者届 一出 以一 下次 一号 国及 外び 転第 出七 者号 しに とお 1111 うって ∪ 国 に外 あ転 つ出 て届 はし ` ك 国い 外う。 転 出 者を でし あた る とに ょ ŋ 11 ず

月 日

七六五四 。に別年 第記 三載 十さ 条れ のた 三住 十民 七票 及コ びー 第ド 三二 十国 条外 の転 三出 十者 八に にあ おつ いて ては 同 じそ $^{\circ}$ \mathcal{O} 玉 外 転 出 届 を L たこ と に ょ り 消 除 さ れ た 住 民 票 に 記 載 さ れ て 11 た 住

民

す本 に情 は報 · 0 政 提

一用げ構よ三 する保り十通 略通る通求通関通る場存通条知 知事知め知し知こ合本知の都 都務都が都求都とに人し十道 道の道あ道め道があ確た 府 府処府つ府が府でつ認都機県 県理県た県あ県きて情道構の のにのとのつのるは報府は区 区関区き区た区場、(県、域域し域。域と域合個一知次内 内き内に人号事のの ・ 感番が各市市り号と統号で 町、2 。の限番 市町、高田町村の出土のについている。第三号・おおいずれの執行。 市町村になるものでは、 号までれかは、行機関 その他である。 掲(当の の下る。 場「場確 村 今通令 合通令認 。 長そ に知 あ都 0) つ道 他 て府 \mathcal{O} は、住口の場合で定提供) 市 町 村 定 民票コーのの \mathcal{O} \emptyset 執 る コードを除っしてころに 行 機 関 が が除めた番除内よ 音くのより 利し市 用を町本 法提村人 第供の確 九す市認 条る町情 第も村報 一の長を 項とそ第 のすの三 規る他十 定。の条 にた執の よだ行七 りし機第 個 `関一 人第に項 番一対の 号号し規 をに、定 利掲機に

 \mathcal{O} 執 行 機 関 で あ 0 て 別 表 第 \mathcal{O} 上 欄 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O} カン 5 同 表 \mathcal{O} 下 欄 に 掲 げ る 事 務 \mathcal{O} 処 理

しに \mathcal{O} 市 町 村 \mathcal{O} 市 町 村 長 そ \mathcal{O} 他 \mathcal{O} 執 行 機 関 か 6 番 号 利 用 法 第 九 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に 基 づ き 条 例 で 定 \Diamond る 事 務 \mathcal{O} 処 理 に 関

す 内求内 のめの 市が市 町あ町 村つ村 のたの 市と市 町き町 。 が 長 カコ 6 番 号 利 用 法 第 + 七 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に 基 づ き 玉 外 転 出 者 に 係 る 個 人 番 号 力 1 K \mathcal{O} 交 付 関

村 長 カン 6 住 民 基 本 台 帳 に 関 す る 事 務 \mathcal{O} 処 理 に 関 L 求 \emptyset が あ 0 た لح

 \mathcal{O} 区 域 れ市 機 \mathcal{O} る提 \mathcal{O}

一用を町三 法提村十通 通務通の通第供の条都知の知都知力す市の道 都処都道都条る町十二 道理道府道第も村二県市に府県府一の長 県関県の県項とそ機外の以上以都以外の大人は、 外求外道外規る他は都のめの府の定。の、湾 都が都県都にた執次点 道あ道知道よだ行の順 府つ府事府りし機各 県た県を県個 `関号 のとの経の人第にの 区き区て区番一対い で域号号し、れずの大内の大 の大人の大 ののの利掲機か 市下市用げ構に 町欄町する保該の 村の場では、一大のものでは、一大の場では、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、一大のものでは、 町る町があ確場 村事村でつ認合 長務長きて情に そのの場へは、 他理他合個 他母によってのに人号 令 執関執限番 が定ない。 行し行り号機求機、に の第三ロ についま ががある。 のがある。 \Diamond ところ 番つつるは、 でに に 利と別の当 ょ 掲 用き表と該 ŋ げ 第す市 る 四る町 通 場 知 場合にあ 都 長 そ 道 \mathcal{O} 府 の他のつて、県以 以 \mathcal{O} 市は外 \mathcal{O} 町 住 都 村 民 7. 執、 道 府 コー 行 県 \mathcal{O} k · を 区 関 が 域 が除番 く。の 号 利し市

外 の処の場 . 号たても 上 欄 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O} カン 5 通 都 道 府 県 以

内 0 市 町 村 \mathcal{O} 市 町 村 長 カン 5 番 号 利 用 法 第 + 七 条 第 項 0 法 規 定 九 に 条 基 第 づ き 項 玉 \mathcal{O} 外 規 転 定 出 に 者 基 に づ 係 き る 条 個 例 で 人 番 定 号 \Diamond 力 る

兀] 略事通ド 務知の の都交 処道付 理府に に県関 関以す し外る 求の事 め都務 が道の あ府処 つ県理 たのに と区関 き域し 。内求 のめ 市が 町あ 村つ

のた 市と 町き 村 長 カン 5 通 知 都 道 府 県 以 外 \mathcal{O} 都 道 府 県 \mathcal{O} 都 道 府 県

知

事

を

経

7

住

民

基

本

台

帳

に

す

へる

の準め第各都三 供省都へう法る九項道十準 す令道略ち定基条の府条法 るで府ご住事準第下県の定 民務に一欄の十事 票処適項に都五務 コ理合の掲道の処 | 者す規げ府二理 ド」る定る県 者 以ともに事知機へ 外いのよ務事構の のうにりへそは本 。限個以の、人 の一る人下他国確 をか。番このの認 提ら一号の執機情 供当をを項行関報 す該い利に機若の る準う用お関し提 も法。すいでく供 の定以るてあは等 と事下こっつ別ご す務同と別て表 るのじが表 、第 。如 。で事準一 理)き務法の にのる」定上 関う事と事欄 しち務い務に 求総でうへ掲 め務あ。別げ が省つご表る あ令てに第法 つで当準一人 た定該ずか ` とめ事るら市 きる務事別町 はもの務表村 `の性〜第長 政を質個四そ 令処が別まの で理当ので他 定す該法のの める別律各市 る者表の項町 とと事規の村 こし務定下の ろてとに欄執 に総同基、行 よ務一づ別機 り省でく表関 `令あ事第又 機でる務五は 構定こを各通 保めと除号知 存るそき及都

確。政号表県

認以令利第以

情下で用六外

報「定法のの

ŧ 本もの `び道 人の他番別府

提務 も定県 のめ知 とる事 すもは るの ` 。か都 ら道 当府 該県 準 知 法事 定以 事外 務の の当 処該 理都 に道 関府 し県 求の め執 が行 あ機 つ関 たで とあ きつ はて 政 準 令法 で定 定事 め務 るの とう こち ろ総 に務 よ省 り令 、で 都定 道め 府る 県も 知の 事を 保処 存理 本す 人る 確者 認と 情し 報て を総

-) 号は三(に以都録第〔並、一十市 必下道し一略び第部条町 要「府、項」に三にの村 戸号つ四長 籍及い十か のびて一ら 附第の 都 票五記市道 の号載町府 記かの村県 載ら修長知 等第正は事 に七を、へ 関号行戸の すまつ籍附 るでたの票 事に場附本 項掲合票人 でげにの確 政るは記認 令事 `載情 で項当、報 定へ該消の め戸戸除通 る籍籍又知 もののは等 の附附第 を票票十 いのの七 う消記条 。除載第 以を等二 下行に号 同つ係、 じたる第 。場附三 ~ 合票号 をに本及 都は人び 道、確第 府当認五 県該情号 知戸報か 事籍へら にの戸第 通附籍七 知票の号 すに附ま る記票で も載にに のさ記掲 とれ載げ すてさる るいれ事 。たて項 こいの れる全 ら同部 の条若 事第し

記 報府め県 一県る知 と知期事 い事間は うが保 ` 。保存総 一存し務 のすな省 全るけ令 部附れで 又票ば定 は本なめ 一人らる 部確なと が認いこ °ろ に ょ ŋ 当 該 通 知 に 係 る 附 票 本 人 確 認 情 報 を 磁 気 デ 1 ス ク

復へ な都県この 措道知れ規 置府事を定 を県は当に 講知、該よ じ事前通る な保項知通 け存のの知 れ附規目を ば票定か受 な本にらけ ら人よ政た な確り令都 い認都で道 。情道定府 滅情 失報 しで たあ とつ きて は同 、項 当の 該規 都定 道に 府よ 県る 知保 事存 保期 存間 附が 票経 本過 人し 確て 認い 情な 報い のも 回の

 \equiv の府 四県 十知 二事 カン 都ら 道機 府構 県へ 知の 事附 は票 `本 前人 条確 第認 一情 項報 のの 規通 定知 に等 ょ る 通 知 に 係 る 附 本 人 確 認 情 報 を 機 構 に 通 知 す る ŧ \mathcal{O} لح す

3 2 第 な附 い票機れ第二十都 。本構を一略条道 人は当項) `該の 認前通規 情項知定 報ののに 一規日よ と定かる いにら通 うよ政知 。り令を)機で受 の構定け 全がめた 部保る機 又存期構 はす間は 一る保 部附存総 が票し務 滅本な省 失人け令 し確れで た認ば定 と情なめ き報らる はでなと あいこ °3 当つ 該て 機同 ょ 構項 保の 存規 附定 該 票に 通 本よ 知 人る に 確保 係 認存 る 情期 附 報間 票 のが 本 回経 人 復過 確 にし 認 必て 情 要い 報 なな を 措い 磁 置も 気 デ をの 講へ イ じ以 ス ク な下 に けっ れ機 記 ば構 録 な保 ら存

玉 0 等 0 附 票 本 人 確 認 情 報 0 提 供

項二く

に

第 関三 し十 求条 めの が四 あ十 つ四 た と機 き構 はは 政別 令 表 で第 定一 めの る上 と欄 こに ろ掲 にげ よる り国 `O 機機 構関 保又 存は 附法 票人 本か 人ら 確同 認表 情の 報下 の欄 うに ち掲 住げ 民る 票事 コ務 10 ド処 以理 外で のあ もつ のて を国 提外 供転 す出 る者 もに の係 とる すも るの 。に

本こ六三へ 人ろ条十デ 確にに条ジ 認よおのタ 情りい四ル 報、て十庁 を当準四へ 利該用のの 用求す二住 すめる 民 るに場機票 こ係合構コ とるをはし が者含、ド でのむデの き戸。ジ提 る籍)タ供 ののル 附規庁 票定か ににら 記よ番 載る号 さ事利 れ務用 たの法 住処第 民理二 票で十 コあー 一つ条 ドて第 を国二 提外項 供転又 す出は る者第 もにニ の係十 とる一 すも条 るのの 。にニ こ関第 のしー 場求項 合めへ にがこ おあれ いつら てたの と規 機き定 構はを は `番 `政号 機令利 構で用 保定法 存め第 附る二 票と十

一す他二三(るの第十附 。執一条票 行項の通 機の四知 関規十都 に定四道 対にの府 しよ三県 **`**りの 機通機区 構知構域 保しは内 存た `の 附都次市 票道の町 本府各村 人県号の 確知の執 認事い行 情がず機 報統れ関 (括かへ 第すにの 一る該附 号都当票 及道す本 び府る人 第県場確 二一合認 号以に情 に下は報 掲っ、の げ附政提 る票令供 場通でし 合知定 に都め あ道る つ府と て県こ はっろ `とに 住いよ 民うり票。、 ゴー附 一の票 ド区本 を域人 除内確 くの認 。市情 一町報 を村を 提の第 供市三 す町十 る村条 も長の のそ四 との十

略附あ附理附 票つ票で票 知国知つ知 都外都て都 府出府外府 県者県転県 区係区者区 域る域に域 内も内係内 のののるの 市に市も市 町関町の町 村し村に村 市め市し市 町が町求町 村あ村め村 戸き他た他 °のとの 執き執 。行 機 で あ 0 て 別 表 第 \mathcal{O} 上 欄 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O} カン 6 同 表 \mathcal{O} 下 欄 に 掲 げ る 事 務 \mathcal{O}

で処 通て通あ通 道転道国道 のにの出の の求の関の 長つ長が長 かたそあそ らとのつの 行 機 関 カン 5 番 号 利 用 法 第 九 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に 基 づ き 条 例 で 定 \Diamond る 事 務 \mathcal{O} 処 理

籍 \mathcal{O} 附 票 に 関 す る 事 務 \mathcal{O} 処 理 に 関 L 求 \otimes が あ 0 た き

一を都三 理 の 提道十附 略附で附処附供府条票 票あ票理票す県の通 通つ通で通る知四知 知て知あ知も事十都 都国都つ都のそ四道 道外道て道とのの府 府転府国府す他四県 県出県外県るの 以 。執機外 行構の 機は都 関 `道 に次府 対の県 し各の 、号執 機の行 構い機 保ず関 存れへ 附かの 票に附 本該票 人当本 確す人 認る確 情場認 報合情 (に報 第はの 一、提

以者以転以 外に外出外 の係の者の 都る都に都 道も道係道 府の府る府 県に県も県 の関ののの 都し都に都 道求道関道 府め府し府 県が県求県 知あ知め知 事つ事が事 かたそあそ らとのつの 第き他た他 °のとの 執き執 。行 機 関 で あ 9 て 别 表 第 \equiv \mathcal{O} 上 欄 に 掲 げ る ŧ \mathcal{O} か 6 同 表 \mathcal{O} 下 欄 掲 げ る 務

号政供

及令

びで

第定

ニめ

号る

にと

掲こ

げろ

るに

場よ

合り

に `

あ附

つ票

て通

は知

、都

住道

民府

票県

コ以

1外

ドの

を都

除道

く府

· 。県

 $\bigcup_{\mathcal{O}}$

行 機 関 カン ら 番 号 利 用 法 第 九 条 第 項 \mathcal{O} 規 定 に 基 づ き 条 例 で 定 \otimes る 事 務 \mathcal{O} 処

三 + 条 \mathcal{O} 兀 + 兀 \mathcal{O} + 第 項 \mathcal{O} 規 定 に ょ る 事 務 \mathcal{O} 処 理 に 関 L 求 \Diamond が あ 0

行号区 機の域 関い内 にずの 対れ市 しか町 `に村 機該の 構当執 保す行 存る機 附場関 票合へ 本にの 人は附 確、票 認政本 情令人 報で確 _ 定認 第め情 一る報 号との 及こ提 びろ供 第にご

一ド区三 道 を域十附 附府附除内条票 票県票くのの通 通以通。市四知 知外知一町十都 都の都を村四道 道都道提のの府 府道府供市五県 県府県す町 以 以県以る村機外 外の外も長構の の都ののそは都 都道都との `道 道府道す他次府 府県府るのの県 。執各の 県知県 の事の 区を区 域経域 内て内 の同の 市表市 町の町 村下村 の欄の 市に市 町掲町 村げ村 長る長 そ事そ の務の 他の他 の処の 執理執 行で行 機あ機 関つ関 かてで ら国あ 番外つ 号転て 利出別 ニょ 用者表 法に第 号り に ` 第係四 九るの 揭附 条も上 げ票 第の欄 る通 二にに 場知 項関掲 合都 のしげ に道 規求る あ府 定めも つ県 にがの て以 は外 基あか `の づつら きた附 住都 条と票 民道 例き通 票府 。知 で コ県 定 都 10

- 3 -

め道転 $^{\circ}$ \mathcal{O} \mathcal{O} 市に 町関 村し の求 市め 町が 村あ 長つ かた らと 附き

(にめ 略関附る す票事 る通務 事知の 務都処 の道理 処府で 理県あ に以つ 関外て しの国 求都外 が府出 あ県者 つのに た区係 と域る き内も 票 通 知 都 道 府 県 以 外 \mathcal{O} 都 道 府 県 \mathcal{O} 都 道 府 県 知 事 を て 戸 \mathcal{O} 附 票

2 第 三二

一供場 8 府機 (関 出 す合都十附 県構略し都者都るに道条票 求道に道もあ府の本 め府係府のつ県四人 が県る県とて知十確 あ知も知すは事四認 つ事の事る条はの情 た以に以。例、六報 で次の 定のへ利 め各略用 る号 との こい ろず にれ よか りに `該 都当 道す 府る 県場 知合 事に 以は 外 ` の第 当一 該号 都に 道掲 府げ 県る の場 執合 行に 機あ 関つ にて 対は し政 `令 都で 道定 府め 県る 知と 事こ 保ろ 存に 附よ 票り 本 人第 確二 認号 情に 報掲

と外関外 きのしの 。当求当 該め該 都が都 道あ道 府つ府 県た県 のとの 執き執 。 行 機 関 で あ 0 て 別 表 第 六 \mathcal{O} 上 欄 に 掲 げ る to \mathcal{O} カン 6 同 表 \mathcal{O} 下 欄 に 掲 げ る 事 務 \mathcal{O} 加 理 で あ 0 て 玉 外 転

行

機

関

で

あ

0

7

条

例

で

定

 \emptyset

る

ŧ

 \mathcal{O}

カン

6

条

例

で

定

8

る

事

務

 \mathcal{O}

処

理

で

あ

0

て

玉

外

転

出

者

に

係

る

ŧ

 \mathcal{O}

12

都

をげ

提る

4 3 (道

< 略事 ` 一に都 対道 し府 機知 構事 保か 存ら 附第 票三 本十 人条 確の 認六 情第 報四 を項 提の 供規 す定 るに もよ のる と事 す務 るの 。処 理 に 関 L 求 \aleph が あ 0 た لح き は 政 令 で 定 \Diamond る لح ろ に ょ ŋ 当 該

5

第

提外三(もに四事 の係十務 とる四処 すもの理 るの七者 。に~ 関機の し構附 求は票 め、本 が準人 あ法確 つ定認 た事情 と務報 き処の は理提 `者供 政か等 令らご で第 定三 め十 る条 との こ十 ろ五 にの よ二 り第 機項 構に 保規 存定 附す 票る 本総 人務 確省 認令 情で 報定 のめ うる ち準 住法 民定 票事 コ務 10 ド処 以理 外で のあ もつ のて を国

3 2

0 て都へ供転十準 国道略す出条法 外府でる者の定 転県 出知 者事 には 係、 る第 も三 の十 に条 関の し十 求五 めの が二 あ第 つ三 た項 とに き規 は定 、す 都る 道総 府務 県省 知令 事で 保定 存め 附る 票者 本か 人ら 確同 認項 情に 報規 を定 提す 供る す総 る務 も省 の令 とで す定 るめ 。る 準 法 定 事 務 \mathcal{O} 処 理 で あ

第 適三 前用十指 項に八定 につ条都 定い 市 めて地の るは方特 も、自例 の区治し の及法 ほび第 か総二 `合百 指区五 定を十 都市二 市と条 につの 対区十 す及九 るび第 こ総一 の合項 法区の 律の指 の区定 規域都 定を市 の市(以 適の 用区下 た域指 ついなり いては、政人都市」と 政びい 令総 で合。 特区し 別長に のを対 定市す め長る をとこ すみの るな法 こす律 $^{\circ}$ $_{\mathcal{O}}$ 規 定 で 政 令 で 定 8 る ŧ 0 \mathcal{O}

لح

が

で

き

 \mathcal{O}

第 四~ 十政 一令 条へ こ委 の任 法 律 \mathcal{O} 実 施 \mathcal{O} た \otimes \mathcal{O} 手 続 そ \mathcal{O} 他 そ \mathcal{O} 施 行 に 関 L 必 要 な 事 項 は 政 令 で 定 8 る

 \bigcirc 住 民 基 本 台 帳 法 施 行 令 昭 和 兀 十 年 政 令 第 百 九 + 号) 抄

Ħ

第第次 章 章 住総 民則 基(本第 台一 帳条 第二 条 第 + 七

附第第第第第第 | 条の

則八七六五四三 章章章章章章 雑外氏本届戸 則国に人出籍 (人変確(の 第住更認第附 三民が情二票 十にあ報十へ 一関つの二第 条すた処条十 |る者理|八 第特に及第条 三例関び三| 十一す利十第 五第る用条二 条三特等 一十例(条一第 の第三 十三十 五十条

第の二

三十二十二第

条・三

の第十

二三条

++o

一条十

兀

 $O \subseteq$

 $_{+}^{+}\bar{c}$

第

条十二 か一届 ら条出 前に 条市基 ま町づ で村く の長住 規は民 定、票 に法の よ第記 る四載 住章等 民又 票は の第 記四 載章 ~ ~ 消三 除の 又規 は定 記に 載よ のる 修届 正出 へ が 以あ 下つ った 記と 載き 等は と当 い該 う届 。 出 $\smile_{\mathcal{O}}$ を内 行容 わが な事 け実 れで ばあ なる らか など いう ゜カュ を 査 し 七

第

のい・つ十つ 旨て市3た二職 を `町 と条権 公通村へき に 示知長略は市よ 、町る 当村住 該長民 記は票 載、の 等法記 を第載 す四等 べ章 き又 事は 実第 を四 確章 認の し三 ての 、規 職定 権に でよ `3 第届 七出 条に か基 らづ 第き 十住 条民 ま票 での の記 規載 定等 にを よす るべ 住き 民場 票合 のに 記お 載い 等て を、 し当 な該 け届 れ出 ばが なな らい なこ ゜を 知

4 2 すをはし る受、 こけ第 とる一 がべ項 できの き者規 るの定 。住に 所よ 及り び住 居民 所票 がの 明記 ら載 か等 でを なし いた とと きき そは Ø ' 他そ 通の 知旨 をを す当 る該 こ記 と載 が等 困に 難係 でる あ者 るに と通 認知 めし るな とけ きれ はば 、な そら のな 通い 知 にこ 代の え場 て合いに そお

二る団二 第法体十機 三律情条構 項施報のへ 本行シニの 文令ス 戸 及へテ本籍 び平ム籍の 第成機地附 四二構の票 項十へ市の 一六以町記 こ年下村載 れ政「長事 ら令機が項 の第構行の 規百一う提 定五と法供 を十い第方 番五う十法 田号 つ。九 号) 条 用以への 法下の三 施こ提の 行の供規 令条に定 第及つに 三びいよ 十第てる 一三は法 条十 `第 に条行十 おの政七 い八手条 ての続第 準二に二 用にお号 すおけ、 るいる第 場て特三 合「定号 を番の、 含号個第 む利人五 。用を号 一法識及 に施別び 定行す第 め令る六 るした号 ととめに こいの掲 ろう番げ に。 号る よしの事 る第利項 二用の 十等地 七に方 条関公 のす共

第

届二 出十届 の六出 任条の に方 当法式 た第一 つ四 て章 い又 るは 者第 が四 署章 名の し三 たの 書規 面定 でに しよ なる け届 れ出 ばは ない ら現 なに い届 °出 \mathcal{O} 任 に 当 た 0 7 11 る 者 \mathcal{O} 住 所 及 び 届 出 \mathcal{O} 年 月 日 が 記 載 さ れ 並 び 12 当 該

第 一の次三 期条十都 住知住間及条道 民を民とびの府 票受票す第六県 のけのる三 に 。十法お 四第け 条三る 第十本 三条人 項の確 に六認 お第情 い三報 て項の 一に保 本規存 人定期 確す間 認る) 情政 報令 しで と定 いめ うる 。期 一間 のは 区 、 分次 にの 応各 じ号 当 掲 該げ 本る 人同 確条 認第 情一 報項 のに 通規 知定 のす 日る か本 ら人 当確 該認 各情 号 報 にへ 定以 め下 るこ 日の ま条 で

消た記 除日載 がか又 行らは わ起記 れ算載 たしの こて修 と百正 に五が よ十行 り年わ 通をれ 知経た さ過こ れすと たるに 本日よ n 通 知 さ れ た 本 人 確 認 情 報 当 該 本 人 確 認 情 報 に 係 る 者 に 係 る 新 た な 本 人 確 認 情 報 \mathcal{O}

通 人 確 認 情 報 当 該 本 確 認 情 報 \mathcal{O} 涌 知 \mathcal{O} 日 か 6 起 算 L て 百 五. + 年 を 経 過 す る

十国 条の の機 八関 等 機へ 構の が本 行人 う確 法認 第情 三報 + 0条提 の供 九方 の法

第 三一 規 定 に ょ る 同 条 に 規 定 す る 機 構 保 存 本 人 確 認 情 報 \mathcal{O} Š 5 住 民 票 コ 1 ド 以 外 0 ŧ \mathcal{O} 以 下こ 0

章

機法と 構にい のよう 使りっ 用行) にうの 係も法 るの別 電と表 子す第 計る一 $^{\circ}$ $_{\mathcal{O}}$ 上 欄 に 掲 げ る 玉 \mathcal{O} 機 関 又 は 法 人 以 下 0 条 に お 1 7 玉 \mathcal{O} 機 等 لح

構。い 総保総ごて 務存務へ「 省本省の特 令人令提定 で確で供機 定認定は構 め情め、保 る報る次存 とをとの本 こ、送こが人 にすにれ認 よるよか情 り方りの報 、法、方」 算 機 カン 電 気 通 信 回 線 を 通 ľ 7 玉 \mathcal{O} 機 関 等 \mathcal{O} 使 用 に 係 る 電 子 算 定

構 カン 5 特 定 機 構 保 存 本 人 確 報 を 記 録 L た 磁 気 デ イ ス ク を 玉 \mathcal{O} 機 関 等 に 送 付 す る 方

正民を二三(前後票機含十十デ 項のに構む七条ジ の住つは。条のタ 規民い、一第八ル 定票て番及三の庁 にコ、号び項ニへ よ | 当利第及 の るド該用三び機住 通を住法十第構民 知通民施一四が票 に知票行条項行コ つすコ令に(う l いる l 第おこ法ド てもドニいれ第の はのの十てら三提 、と記七準の十供 番す載条用規条方 号るの第す定の法 利。修三るを九 正項場番の がの合号二 行規を利第 わ定含用一 れにむ法項 たよ[°]施の こり次行規 と内項令定 を閣及第に 知総び二よ つ理第十る た大三七住 と臣項条民 きににの票 は通お二コ 、知い第一 内して五ド 閣た同項の 総同で、デジタ 臣特に利ル に定定用庁 対のめ法へ し個る施の 一人と行提 当にこ令供 該係ろ第に 特るに三つ 定住よ十い の民る一て 個票。条は に ` お番 い号 て利 準 用 用法 す施 る行 場令 合第

人コ にし 係ド るが 修記 正載 前さ 及れ びた 修住

用 法 施 行 令 第 + 七 条 第 兀 項 \mathcal{O} 規 定 を 進 用 す

一以道三(

方 計 下府十通 法総算総こ県条知 務機務のへの都 省に省条同九道 令特令に項 府 で定でおに機県 定機定い規構の め構めて定が区 る保る「す行域 と存と区るう内 こ本こ域通法の ろ人ろ内知第市 に確にの都三町 よ認よ市道十村 り情り町府条の `報`村県の執 機を機のを十行 構送構執い第機 か信の行う一関 らす使機。項へ 特る用関次への 定方に「条第本 機法係と及一人 るいび号確 電う第及認 子。三び情 計一十第報 算へ条二の 機のの号提 か提十に供 ら供一係方 電はにる法 気、お部) 通次い分 信のてに 回い同限 線ずじる をれ。。 通かしし じののの て方区規 区法域定 域に内に 内よのよ のり市る 市行町特 町う村定 村もの機 のの市構 執と町保 行す村存 機る長本 関。そ人 の確 他認 の情

 \mathcal{D} 使 用 に 係 る 電 子

構 保 存 本 人 確 情 報 を 記 録 L た 磁 気 デ イ ス ク を 区 域 内 \mathcal{O} 市 町 村 \mathcal{O} 執 行 機 関 に 送 付 す る

一関知三へ 機使一都十通 (係情 以る報 下部の こ分提 のに供 条限方 にる法 お。

通 V'ての 他 _ 規 \mathcal{O} 都 他定 のに 道 都よ 府 県 道る \mathcal{O} 府特 区 県定 域 の機 内 区構 域保 \mathcal{O} 市 内存 町 の本 村 市人 町確 \mathcal{O} 執 村認 の情 行 機 執報 関 行の 機通

ľ

て

 \mathcal{O}

関総用総と道条知 に務に務い府の都 送省係省う県十道 付令る令。以一府 すで電で 外県 る定子定への機以 方め計めの都構外 法る算る提道がの と機と供府行都 こにこは県う道 ろ特ろ 、の法府 に定に次区第県 よ機よの域三の り構りい内十区 、保、ずの条域 機存機れ市の内 構本構か町十の か人のの村二市 ら確使方の第町 特認用法市一村 定情にに町項の 機報係よ村へ執 構をるり長第行 保送電行そ一機 存信子うの号関 本す計も他及へ 人る算ののびの 確方機と執第本 認法かす行二人 らる機号確 電。関に認 気 通 信 回 線 を

情 報 を 記 録 L た 磁 気 デ イ ス ク を 他 \mathcal{O} 都 道 府 県 \mathcal{O} 区 域 内 \mathcal{O} 市 町 村 \mathcal{O} 執 行

一に県県三 よ知知十都 係総り事事条道 る務行以保の府 電省う外存十県 子令もの本二知 計での当人 事 算定と該確都以 機めす都認道外 にるる道情府の 。府報県当 県の知該 のう事都 執ちが道 行住行府 機民う県 関票法の 一コ第執 以丨三行 下ド十機 こ以条関 の外のへ 条の十の にも五本 おの第人 い、二確 て以項認 「下〔情 都こ第報 道の一の 府条号提 県にに供 知お係方 事いる法 以て部) 外 「分 の特に 執定限 行都る 機道 関府) 一県の と知規 い事定 う保に 。存よ ~ 本る へ人法 の確第 提認三 供情十 は報条 `- O 次と八 のいに いう規 ず。定 れーす かのる の都都 方道道 法府府

に 特と 定こ 都ろ 道に 府よ 県り 知 ` 事都 保道 存府 本県 人知 確事 認の 情使 報用 をに 送係 信る す電 る子 方計 法算 機 か 5 電 気 涌 信 口 線 を 通 じ 7 都 道 府 県 知 事 以 外 \mathcal{O} 執 行 機 関 \mathcal{O} 使

用

執報

行の

機通

関知

(都

二 執 行総 機務 関に送付する方法(省令で定めるところに ょ り、 都 道 府 県 知 事 か 5 特 定 都 道 府 県 知 事保 存 本 人 確 認情 報 を 記 録 L た磁気ディ ス クを 都 道 府 県 知 事以 外

0

2 第) 三 すに地+ て法の規定をは、

るつ方一。い自条 定和 を二 適用 す年 る法 場律 合第 に六 は十、七 次号の 表第 O上百 欄五 に十二 げ条 るの 法十 の九 規第 定一 中項 同の 表指 の定 中都 欄市 に(掲以 げ下 るこ 字の 句項 は及び そ次 れ条 ぞに れお 同い 表て \mathcal{O} \neg 下指 欄定 に都 に掲げる字句の市」という。

区長の	長	
が作成した戸籍	市町村が備える戸籍の附票	第二十条第一項
を、当街区の属する	項	
	市町村長	第十九条の三
及び区	市町村名	
旨並び	の旨及	第十七条の二第一項
区長	市町村の市町村長	
		儿
基本台	住民基本台帳を備える市町村の市町村長	十四条第二項
及び区長	町村長	十四条第一
区長	町村の	
会をいい、区の選挙	委員会をいう	第十三条
。以下この項において同じ。)		
いて同じ。)又は住所	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
地市町村長(指定都市にあつては、市長。以下こ	付地市町村	兀
た市町村長(指定都市にあつては、区	市町	十二条の四第二
村長(指定都市にあつては、区長)に	町村長に対	
、当該住民基本台帳を作成した区長)	:	
基本台帳を備える市町村の市町村	住民基本台帳を備える市町村の市町村長	十二条の
₽	m	身
	丁寸を青むらと思考なる	三言字
長	方丁寸長の	一二条〇二等一頁
: の 区	- 1111	
長	市町村が備える住民基本台帳	第十二条第一項
長は 	町村長は	_
長	ш÷	
長	m-	第十一条第一項
下司じで	本の信	
丁寸り主民(旨官邪旨こあつては、玄(窓合玄と宮田本卦(扌気者言りは)。 [2]		_
町村長(旨定都市こあつては、区長)	叮讨	
長及び区長(総合区長を含む。	町村	第三条第一項

一を 三 民各村条 票号長 のにはへ 記掲、略 載げ法 又る第 は本三 記人十

第第第第第第項第項第三三三三三三三 び第第第第三三三 四第項二 第四 第二 項第 第第 第一 次市十保 第二 住の町四存 $\overline{+}$ 十 $\overline{+}$ ++ + + + + +十 四 ま + + 条の二 兀 匹 条 条 条の三十八 条の三 条 項条 条 で 条 条条条条 条の 条の 条 0 の 三 条 第 0 条 \mathcal{O} 0) 0 0 六 兀 第 \mathcal{O} 五 のの + 第第 第 第 項 +号 第第 第 六 第 第 第 か 七 第 第 項 項項項 七 口 第 五. 6 項 項項 及 項 項 項 第 載確条 受けた市町は 住そ当民の該 市市 市市市市住 市都市 受けた市 市市市市 の認の 市 市 市 転転 町道 入入地予 町町町町町町民 町町町町 町 町 町 町 町 修情六 村府 村 基市市 村村村村村 村 村 正報第 本台帳 長 長 県 長 町町 市定 のがが長の 長 をの一 村の住る村長が 町地 町町村町 市 備 市 行区項 える戸 村村長長 村長村 村市 帳 町 事 つ分の を備 長町 村 を たに規 又村は長 備 民基本台 長 長 こ応定 える市 える 籍 とじに 転 に 、よ 市 附 出 よ当り 町帳 町 地 票 り該通 村 村 市 通本知 0 0 町 知人し 村 市 市 し確た 町 町 長 た認本 村 村 本情人 長 長 人報確 確の認 認通情 情知報 報のを 日 当か総 受け 市 市 市市市市住 市 当はに転転る受 受 区 区 区 区 市 市 市 区 係 区 該ら務 及 長長長長民 長 長 該、お入入転け る け の が 長長の 長 長若しく 長 民 本当省 市市に長で同町地を町町村町 発しく 及又及又又基びはびはは本 又 び 又 該 基 た 区 区 が 人該令 は 区 は 区 本 市 長 作 長 確各で 区 X 区区区区台 区 \mathcal{O} 台 が 成 認号定 作成する区のの項目が、指定都市町村長(指定都市町村長(指定都市町村長(指定都市町村長(指定都市町村長)の項目がある区のの項目がある区のの項目がある区のの項目がある区のの項目がある区のの項目があるという。 長長長長帳 長 は 長 は 属 帳 村 L 情にめ を 区 区 す を 長 た 報定る 作 長 長 る 作 戸 私に係る日ところ 指 成 市 成 籍 住区項は定(長定民長に転都指の都 L 0 L 定 0 た 市 た 都 に 附 都 者まに 基がお出市定置市市あ市本 い地に都かににつに 区 長 区 票 にでよ 長 を 長 本 係のり て市あ市れああ 経 て あ 台 る期磁 同町つにたつ じ村てあ区て つは、 つて 由 帳 新間気 L た保デ て、 な存ィ 本すス 都 人るク 渞 府 確もに 県 市以長のの 認の記 に下 知 市規 情と録 あこ 長定に 事 報すし に つの れの。 こ、 こ、 て項 ょ 知 れ

法を 及住し び民た こ票日 ののか 政消ら 令除起 にを算 基行し づつて くた百 届こ五 出と十 書に年 `よを 通り経 知通過 書知す そしる のた日 他本 の人 書確 類認 は情 `報 そ の当 受該 理本 さ人 れ確 た認 日情 か報 らの 一诵 年知 間の 保日 存か すら る起 も算 のし とて す百 る五 + 年 を 経 渦 す る

 \bigcirc 報情 通報 信通 の信 技技 術術 のの 利活 用用 にに 関よ する る行 法政 律手 等続 の等 一 に 部係 をる 改関 正係 す者 るの 法利 律 便 (性 令の 和向 元上 年並 法び 律に 第行 十政 六 運 号営 J 0 (簡 抄素 化 及 び 効 率 化 を 义 る た \otimes \mathcal{O} 行 政 丰 続 等 に お け る

略本則 一台 法 \mathcal{O} _ 部 改 正 に 伴 う 経 過 措

3 2 第 四一

∫の`の ∫に三法て 12とそ市市 8 掲号第 、市 、条住 すの町町 げに十番町略 民附 (る者村村(る規七号村)(基 にに長略事定条利長 係おは、項すの用は をる規法、 記住定の第 載民に施十 し票か行号 なコかの施 い一わ日行 もドら以目 のがず後にと記、いお す載第ずい るさ十れて °れ号の現 、施市に 同行町当 法日村該 第以に市 十後お町 九住い村 条民てへ 第基も特 一本住別 項台民区 の帳基を 規法本含 定第台む に三帳 よ十に以 る条記下 通の録こ 知三さの が第れ項 行一た及 わ項こび れのと第 る規が九 ま定な項 でにいに のよ者お 間りにい はそ係て `のる同 新者もじ 住にの。 民係に 基るつが 本住い備 台民てえ 帳票はる 法に、戸 第同新籍 十法住の 七第民附 条七基票 第条本で 七第台あ 号十帳っ

9 4

るい ` 同て第 項も十 に住号 規民施 定基行 す本日 る台に 附帳お 票にい 本記て 人録現 確さに 認れ当 情た該 報こ市 一と町 新が村 住なが 民い備 基もえ 本のる 台に戸 帳つ籍 法いの 第て附 十は票 七 `に 条新記 第住録 七民さ 号基れ に本て 掲台い げ帳る る法者 事第で 項三あ を十つ 除条て くの ` 。四番 一十号 を一利 都第用 道一法 府項の 県の施 知規行 事定の にに日 通か以 知か後 すわい るらず もずれ

10

八页 条令 この附の委任 則任 に 定 \otimes る ŧ \mathcal{O} \mathcal{O} ほ カン \mathcal{O} 法 律 \mathcal{O} 施 行 に 関 L 必 要 な 経 過 措 置 罰 則 に 関 す る 経 過 置 を 含 む は 政 令 で 定 \Diamond

行 政 手 に お け る 特 定 \mathcal{O} 個 人 を 識 別 す る た 8 \mathcal{O} 番 号 \mathcal{O} 利 用 等 に 関 す る 法 律 施 行 令 亚 成二 + 六 年 政 令 第 百 五. +五. 号 抄

用 人 識 別 符 号 \mathcal{O} 取 得

 \bigcirc

第

条供 略個

3 2 第 6 用前民機へ 用則氏機(十報)に項票構とをある。 、係のには` 一電定載情 子にさ報 計よれ照 算るた会 機通住者 に知民等 送は票か 信 `コら すデー第 るジドー 方タを項 法ル通の に庁知規 よ令す定 りでるに 行定もよ うめのる もると通 のとす知 とこる。 そろ。 受 。受 け た لح き は 内 閣 総 理 大 臣 に 妆 L 同 項 0 取 得 番 号 及 び 司 項 \mathcal{O} 特 定 \mathcal{O} 個 人 に 係

4 ・使住 略る規記 るに ょ n 機 構 使 用 に 係 る 雷 子 計 算 機 か 6 気 通 信 回 線 を 通 C て 内 閣 総 理 大 臣

1

る

5

 \bigcirc 公 職 選 挙 法 施 行 令 昭 和 +五 年 政 令 第 八 +九 号

抄

引 き 続 き 都 道 府 県 0 区 域 内 に 住 所 を 有 す るこ لح \mathcal{O} 確 認 \mathcal{O} た 8 \mathcal{O} 手

0

」に 〜 とお昭市へ十 いい和町略四 うて四村^{*} °¬+の)機二選 に構年挙 基一法管 づと律理 きい第委 `う八員 投。十会票)一は 管か号、 理らご前 者提第項 に供三の 対を十規 し受条定 てけのに `た十よ そ同第る の法一照 者第項会 が三へを 引十第受 き条一け 続の号た き九に場 当に係合 該規るに 都定部は 道す分、 府るに直 県機限ち の構るに 区保 域存一第 内本の一 に人規項 住確定の 所認に規 を情よ定 有報りに すへ地よ る同方る か章公申 どに共請 うお団を かい体し をて情た 回一報者 答機シに し構ス係 な保テる け存み住

れ本機民

ば人構基

な確へ本

ら認第台

な情五帳

い報章法

 \mathcal{O} 手 続 及 び 方

 \bigcirc

特

定

患

者

等

 \mathcal{O}

郵

便

を

用

11

7

行

う

投

票

方

特

例

に

関

す

る

法

律

施

行

和

年

政

令

第

百

七

+

五.

3 2 第 投書係封を定都ス又に選 、票、る筒受す道テは掲挙市へ条特 略を南部をける府ム住げ人町略 ´い極分当たと県機民る名村´´´´(郵 う選を該場きの構基者簿の 略便 。挙除選合に区か本に若選 次人く挙に該域ら台あし挙 項証。人は当内提帳つく管 及又)に、すに供法では理 びはの郵当る住をへはそ委 次在規便該と所受昭、の員 条外定等選認をけ和併抄会 に選に、挙め有た四せ本の お挙よ法のたす機十て又委 い人り第期とる構二 `は員 て証選一日きこ保年そ在長 同に挙条のはと存法の外は

`人に公`を本律者選`

。当名規示投確人第に挙第

一該簿定又票認確八つ人一

の選登すは用し認十い名項

投挙録る告封て情一て簿の

票の証郵示筒 報号、若規用種明便のの、()同し定

紙類書等日表そ同第項くに

及及 `を以面の法三(はよ

びび南い前に請第十同そる

投期極うに当求三条号の投

票日選。お該を十のに抄票

用並挙ごい選し条十係本用

封び人をて挙たの第ると紙

筒に証も市の選九一部対及

を当又つ町種挙に項分照び

交該はて村類人規へにし投

付選在発のをが定第限て票

し挙外送選記特す一る《用

たの選し挙入定る号。都封

旨特挙な管し患機に一道筒

を例人け理、者構係の府の

記郵証れ委直等保る規県請

入便のば員ち選存部定の求

し等提な会に挙本分に議を

な投示らの《人人によ会受

け票をな定選に確限りのけ

れ、受いめ挙該認る提議た

ば法け °るの当情 °示員場

な第たこ日期し報)さ又合

ら三との以日 `をのれはに

な条き場後のかい規た長お

い第は合直公つう定引のい

'二 `にち示 ` °に続選て

項当おに又法 よ居拳、

に該い)は第にり住にそ

規選て投告三基地証おの

定挙、票示条づ方明い選

す人前用の第き公書て挙

る名項紙日二引共類、に

特簿へ及以項き団を前用

例登第び前本続体確項い

郵録一投に文き情認第る

便証号票請に当報し一べ

等明に用求規該シ、号き

 \bigcirc 児 童 手 当 施 行 令 昭 和 兀 + 六 年 政 令 百 八 +

十_ 八の 条と ゚゚゛ぉ 第り 百と 十す 条 第 五. 項 及 び + 第

三

三い〜第む条る 十て別三。の場住地特条附 条適表十次十合民方別 の用第条項六を基財会法第 二す三のに 、含本政計附二 十るの二お第む台法に則条 五場七十い三。帳へ関第第 第合の八て十次法昭す二五 二を五第同条項(和る条項 項含の一じのに昭二法第の む項項。二お和十律五政 お頃頃 二ね和十年五政第。に及)十い四三(項令 三次係び、三て十年平ので 十項る第第、同二法成政定 条に部三三第じ年律十令め のお分十十三。法第九でる 二いに条条十一律百年定法 十て限のの条、第九法め律 八同る三十の第八号律るの 第じ。十第二二十)第法規一。)第一十十一第二律定項)(一項五九号十十の等 `同項第第条`条三規` び第法に一二の第第号定 第三第お号項二七十)は三十三い(、、条五第、 十条十て別第第第号百次 条の条適表三三十 の十の用第十十一 三二二十二条条号 十第十るのののの 第一五場五二九二 一項第合の十へへ 項第二を六八別同 に一項含の第表法 お号 `む項一第第 い
、
第
。
に
項
ー
五 て別三次係及の条 適表十項るび七並 用第条に部第十び す四のお分三一に るの二いに十の第 場四十て限条三三 合の八同るのの十 を六第じ。三項四含の一。) 十に条 む項項)(第係第 。に及、同二る一 次係び第法項部項 項る第三第に分及 に部三十三おにび お分十条十い限第 いに条の条てる二 て限の十の適。項 同る三一二用一に じ。十第十するお 。)第一五る 一五る 一页第場法て `同項第二合第適 第法に一項を三用

三第お号、含十す

- 10 -

2

規法及に十 定附びお条 欄中則第いの 同第三て十 表二十同五 の条条じ第 第第の。一 にの第び一 定項二(シー (一) 字にに項別 ||子よお第表 はりい一第 、次て号五 その適へ第 れ表用別九 ぞのす表号 れ第る第の 同一場六二 表欄合のに のにを五係 第掲含のる 四げむ項部 欄る。に分 に住次係に 掲民項る限 び基に部る |お本お分 台いに 帳て限へ する。 にの規定 で り。) (法第三 を並同十 適び法条 用に第の す第三二 る三十十 場十条五 合一の第 に条二一 お第十項 い三五に て項第お → \/ \/ 項て 、適 第用 三す 十る 条場 の合 二を 十含 八な 第 一次 項項

旬 は 同 表 \mathcal{O} 第 欄 に 掲 げ る 同 法

るの第第る号第第限の第第限の第第る六一第係一第 ° Ø — る五一三 。項一三 の号三 る六一三 るの三 二号十 に号十 の号十 項一十部七十 の号十 条 に一条 項(条 項(条 に別条分十条 係(条 第 に別の に別の る別の 係別の 係表のに一の +る第十限の九 部表十 係表十 係表十 る表十 部二第る三へ 뭉 部第五 る第 分第五 る第一 に六第 部四第 分の一 分五第 部三第 の別 0) に第一 項表 限の二 に五項 分の一 分の一 限九項 に四項 に七項 限の第 に第 五項 二別 二第 第 別 の別 の別 の別 の別 三表 表 表 項表 項表 項表 七 第 第 第 第 第 の第 条 六 Ŧi. 兀 項一 第 0 第 0 0 0 \mathcal{O} + 九 五. 兀 七 五. 七 뭉 묽 \mathcal{O} 0 0 \mathcal{O} + 六 項 \mathcal{O} 六 五. 七児 第 第 第 0 第 第同 0 十条七第 十重三手 + + 規 規 +七 七 七 欄 定 定 条第 条 に 条 に 条二 第 第 ょ 第項 法 ょ ŋ 第一 ŋ 項 七昭 項 項 読 読 項 条和 4 4 替 兀 替 えて えて + 六 適 年 適 用 用 法 す す 律 る る 場第 場第 場第同附児 第の~ 場第 第の~ 合十 四規同 合十法則童 合十 合十 四規同 兀 を七 を七 を七 を七第第手 項定法 項定法 含条 含条 にに附 含条 にに附 含条七 当 む第 む第 およ則 む第 およ則 む第条条法 いり第 一第第一 いり第)項二)項)項 て読二 項 て読二 四昭 準み条 準み条 項項和 同 同 用替第 同 用替第 同 に四 すえ四 すえ四 お十 法 法 法 法 るて項 るて項 附 附 附 附 い六 則 適に て年 則 則 適に 則 用お 第 第 用お 第 第 準法 すい すい 用律 条 条 るて 条 るて 条 す第 場準 場準 第 第 第 第 る七 合用 合用 兀 兀 兀 兀 場十 項 項 及す 項 及す 項 合三 に びる に に を号 12 びる 同場 同場 含 お お お お 法合 法合 1 む第 1 い V て 附を 7 て 7 附を t 潍 準 準 準 則含 則含 条 用 用 用 用 第む 第む 同 す す す す 条 条) る る る 法

 \circ ⁾に行 ~ 関政 抄す手 ^{*)}る続 法に 律お のけ 施る 行特 に定 伴の う個 関人 係を 法識 律別 のす 整る 備た 等め にの 関番 す号 るの 法利 律用 の等 施に 行関 にす 伴る う法 総律 務及 省び 関行 係政 政手 令続 のに 整お 備け にる 関特 す定 るの 政 個 令人 〜を 平識 成別 二す 十る 七た 年め 政の 令番 第号 三の 百利 一用 号等

附

2 第 兀 当条 分 0 間略則 第 兀 号 新 住 民 基 本 台 帳 法 别 表 第 0 上 欄 に 掲 げ る 市 町 村 長 そ 0 他 \mathcal{O} 市 町 村 \mathcal{O} 執 行 機 関 第 三 号 旧 住 民 基 本 台 帳 法 別

表

0

上

 \bigcirc \bigcirc 機はに三 地 す厚 人一め欄 認、が欄 し知第て漁籍部十二 5 理に百指 方 なつ八「業法を六届 る生 確とがに当構「規の当情」あに 略十寸基五定 法年 自 いた十新団(改条出 あ掲分保第定上分報特つ掲 。場一法体昭正 三るづ十都 に 律金 情っつげの存一す欄の一定たげ こく二市 合号」職和す厚関 の保 報特たら間本号るに間と機場ら でごと員二る生す 」定場れ、人」求掲、い構合れ 施険 へと政条の 昭 略が令の権 あ第い共十法年る 行制 と機合て第確とめげ第う保にて い構にい四認 `がら四 °存おい での十能 に度 和 つ三う済二律金経 う保おた号情「あれ号)本けた て十。組年、保過 伴及 き定九つ 、条一合法以険措 °存け市新報特って新の人る市 るめ + うび 一本る町住一定たい住一確住町 。る政 関農 その附制律下制置 とって の人住村民と機場た民と認民村 係林 年 の九則度第一度 `情基長 一確民長基い構合都基 法 旨の第の二平及 政漁 ろ指 令業 と認基そ本う保に道本同報本そ 律 を規二統百成び °存お府台条の台の 、情本の台 に定 第 当定十合二三農 の団 同報台他帳一本け県帳各一帳他 よす 六 整体 該に五を十十林 りる + 届よ条図四年漁 備職 条の帳の法の人る知法号と法の 各一法市別一確住事別中あ施市 処人 出り第る号改業 及員 七 理口 号 義当三たご正団 び共 号と施町表と認民そ表「る行町 す五 務該項めの法体 経済 中あ行村第、情基の第特の令村 「る令の四同報本他三定は第の る十 者届にの規一職 過組 抄 こ万 に出規農定と員 措合 特の第執の条の台のの機「三執 と以 定は三行上各一帳都上構法十行 通に定林にい共 置制 と上 知係す漁よう済 に度 機「十機欄号と法道欄保第条機 さの 関の しるる業る 組 構法条関に中あ施府に存三の関 た死存団死一合 れ市 す統 保第のに掲っる行県掲本十九に て〜 と亡続体亡附制 る合 存三十限げ特の令のげ人条の限 い以 き者組職の則度 政を 本十一るる定は第執る確の規る 人条の。市機「三行都認九定 る下 はに合員届第の 令図 確の規一町構法十機道情にの一 `つ〜共出三統 へる ŧ -平た の指 平い以済義条合 認九定か村保第条関府報規適か 成め の定 成て下組務第を 情にのら長存三のに県一定用ら 全都 三の単合者二図 三の 報規適第そ本十十限知とすに第 部市 十同に法は項る 十農 一定用四の人条のる事あるつ四 又一 年条「等 `のた 一林 とすに号他確の規。そる機い号 はと 改に存を平規め あるつ新の認九定ごのの構て新 年漁 正規続廃成定の 政業 る機い住市情にのか他は保は住 → \(\) \(\) 部う 法定組止三に農 令団 の構て民町報規適らの「存、民 は保は基村一定用第都機本同基 で 附す合す十よ林 第体 政) 「存、本のとすに四道構人条本 則る」る年り漁 百職 第機と等改な業 四員 令は 機本同台執あるつ号府保確中台 で、 三構いの正お団 十共 構人条帳行る機い新県存認「帳 六済 定次 条保う法法従体 保確中法機の構て住の本情第法 第存。律に前職 めに 号組 存認「第関は保は民執人報一第 二本)(よの員 合 る掲 本情第三 (「存 `基行確 (号三 もげ 項人が平る例共 〜 法 人報一十第機本同本機認以及十 のる 抄等 の確住成改に済 確へ号条三構人条台関情下び条 を事 規認民十正よ組)を 認以及の号保確中帳へ報こ第の `務 定情基三後り合 情下び十旧存認「法第」の二十 廃 報こ第二住本情第第三と条号第 に報本年の届法 政の 止 」の二第民人報一三号すに」一 令う す かの台法厚出等 でち か提帳律生をを る と条号一基確へ号十旧るおと項 定都 わ供法第年し廃 等 すに「項本認以及条住 °いあ第 め道 らをへ百金な止 \mathcal{O} るおと第台情下びの民 てる一

一処れ二 る府 と県 こが ろ法 に律

よ又

りは

法

律

 \mathcal{O}

部

を

改

正

。いあ一帳報こ第十基

てる号法」の二一本

「のに別と条号第台

機は規表すに一一帳

構「定第るおと項法

。いあ第別

てる一表

「の号第

保第す四

存一るの

本号求上

一の号

機はに

構一規

保第定

存一す

本号る

人一求

確とめ

ず受昭一保けす

`け和号険れる

当、四 。制ば等

該そ十次度なの

届の二条及ら法

出死年にびな律

を亡法お農いの

要を律い林戸一